

平成28年度 授業改善推進プラン

府中市立矢崎小学校

矢崎小の児童の課題、伸ばしたい力について

○各教科の基礎的・基本的な学力を身に付けるために、授業のみならず、朝学習の時間も有効に活用するとともに、家庭との協力の下、家庭学習を自主的に行う児童を育成する。
○各教科、総合的な学習の時間において「問題解決的な学習」を推進し、「思考力・判断力・表現力」を身に付ける。具体的には、解決すべき問題や課題を主体的に捉え、解決するために、既習事項を想起し活用すること、観察や見学等を通して体験的に調べたりすること、様々な情報手段から必要な情報を収集し選択すること、自力解決を目指したあとで、グループや学級で考えを交流すること、問題や課題に沿った考察ができることなどを重視する。また、問題解決の道筋(学び方)を各教科等に応じて学ばせ、主体的に学んでいこうとする態度を育成する。

校内研究課題

昨年度は、教科を横断した問題解決的な学習に取り組み、教員の問題解決的な学習における指導上の課題把握・向上と、児童に問題解決的な学習の進め方を定着させることをねらいとして研究を進めた。今年度は、低学年は生活科、中・高学年は社会科、専科は図画工作にしぼり、『自ら考え判断し、表現する子の育成』という研究主題の下、思考力・判断力・表現力の高まりを目指し、研究を深めていく。
『自ら考え』とは、主体的に学習に取り組み、問題を捉えて解決していこうとすることであると考え。そのためには、学習問題が子供自身の問いとつながっている必要がある。
『判断し』とは、問題を追究・解決するために資料などを活用する際、必要なものを効果的に選択したり、関心をもったことや気付いたことをまとめる際に、効果的なものを選択したりすることであると考え。そのためには、観点を明確に示して学習に取り組む必要がある。
『表現する』とは、自身が考えたことをノートやワークシートにまとめたり、言葉にして他者に伝えたりすることであると考え。ノートづくりや教師の声掛け、話し合い活動の場や内容などを工夫する必要がある。
年7回の研究授業を中心に、主題に迫る手だてを考え、研究を深めていく。

3年生

学年の児童の実態と課題（学習への取り組み、家庭学習、学習準備状況、など）

元気で子供らしい児童が多い。素直でもあり、学習や学校のルールを守ろうと互いに注意をすることもできる。3年生になって新しく学び始めた理科、社会、総合的な学習にも意欲的に取り組んでいる。しかし、学力の差が大きく、学習内容を理解するのに時間がかかったり、新聞づくりなどの活動になかなか取り組めなかったりする児童が少なくない。可能な限り個別指導をし、あきらめずに学習するように励ましている。また、保護者にも現状を伝え、宿題や授業用ノートに目を通すなどの協力を呼びかけている。

各教科

	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
国語	○相手や目的に応じて筋道を立てて話す力 ○自分の考えを述べたり、友達の考えを聞いたりしながら進行に沿って話し合う力 ○目的に応じて文章を書く力 ○文章の大切なことを読み取る力 ○漢字を正しく書き、日常的に使う習慣 ○本を読む習慣	○聞き手に伝わるように話すための話型モデルを提示し、関心のあることなどから話題を集めて話す場を設定する。 ○書こうとすることの中心を明確にし、全体の構成を考えた文章を書けるように指導する。 ○叙述を基に情景や登場人物の心情を読み取ったり、説明文を正確に読んだりできるよう言葉に注目させる。 ○熟語を使った短文作りを日常の漢字指導に取り入れる。 ○本がある環境を整え、読書を奨励する。	○スピーチの活動を取り入れたことで、話す内容の中心を考えて発表することができた。 ●文章を書く経験を多く積んだことで、組み立てや段落等、全体の構成を考えた文章が書けるようになったが、適切な表現をすることが難しい場合がある。 ○登場人物の心情を想像したり、接続語に注目して、段落と段落の関係に注目して読んだりすることができるようになった。 ○新出漢字の漢字のつくりや書き順を意識して書けるようになった。 ○すすんで読書する習慣が付いた。
社会	○資料を活用する力 ○見たこと、聞いたことをまとめ、表現する力 ○自分たちが暮らしている地域について知り、地域の一員としての自覚をもつ力	○地図を読み取る際に必要となる方位や地図記号、縮尺を理解させる。また、表やグラフなどの読み取り方を指導する。 ○資料を活用して施設や土地の高さなどを読み取り、府中市についての特色を考える機会をもつ。 ○学習したことを自分の言葉でまとめ、発表する機会をもつ。 ○府中市の特色や歴史、府中市で働く人々について調べたり、見学したりする機会をもつ。	○基本的な地図記号を習得することができた。また、表やグラフを読み取ることに慣れた。 ○市内巡り、工場見学、博物館見学などを通して、府中市について多くのことを学ぶことができた。 ○個人やグループでまとめたことを発表し合って友達と交流することができた。

	身に付けさせたい力(伸ばしたい力)	児童の課題を解決していくための工夫	成果と課題(年度末)
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○文章問題の中の大事なところを捉え、正しく立式する力 ○長さ、重さ、時間の単位と測定について正しく理解する力 ○様々な図形の構成に着目して理解する力 ○互いに学び合う力 	<ul style="list-style-type: none"> ○分かっていることや、聞かれていることが分かるように問題文に下線を引かせる。 ○児童の日常生活と関連させた課題の提示や実際に測定させる場面を設ける。 ○図形の構成が理解しやすいように、方眼用紙や立体模型等の具体物を用いる。 ○まず自分の考えを式、図、表、グラフ等を用い書かせる。それを基に互いに考えを表現する中で、誤りに気付いたり、よりよい考えをつくったりする機会を積極的に設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を読み取り、正しく立式する児童が増えてきた。 ○積極的に長さや重さを測定させる活動を取り入れたことで、児童が興味・関心をもち、正しく理解することができた。 ○方眼用紙や折り紙で図形を作る活動やコンパスを用い模様を作図する活動を通じ、図形に対して意欲的な児童が増えた。 ○互いの考えを表現する中で、よりよい考えをつくらうとする児童が増えてきた。今後は、自身の考えを他者に分かりやすく伝えることが課題です。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ○問題について自分なりの予想を立て、解決方法を考える力 ○自然の事物や事象、実験結果を正しく捉え、表す力 ○実験結果から考察する力 ○予想したり、考えたりしたことを友達と話し合って交流する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活体験や既習事項、想像力を生かして問題を解決しようとする態度を育てる。 ○観察や実験の目的を明らかにし、カードやノートに表すときのポイントを指導する。 ○実験結果から何が分かったかを考える時は、常に問題に立ち返らせる。 ○自分の考えをもち、それを言葉にすることを習慣付ける。友達と交流し、自分の考えを広げられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決型の学習形式に慣れ、課題に対して予想し、実験や観察をして確かめ、そこから考察し、まとめるという学習経験を積んできた。 ○板書を毎時間同じ形式で書き、ノート指導を行うことにより、ノートの記入方法をほぼ習得させることができた。 ○観察や実験から何が分かるのかを各自が考え、友達と意見を交流させることで更に深めることができた。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○技能のポイントを理解し、自分の動きを改善する力 ○きまりを守ったり、勝敗を受け入れたりする、協力、公正な態度 ○安全に気を付けながら運動に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ○技能のポイントをつかませるために、分かりやすい言葉で指導する。 ○きまりを守らせることを徹底して指導する。また、勝敗の結果だけにこだわるのではなく、結果を次にどう生かすかを指導する。 ○安全に対する意識を高め、用具の適切な扱い方を適宜指導していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○単元によっては学習カードなどを活用し、自分の運動を振り返ることで、めあてをもって学習に取り組む姿が見られた。 ○きまりを守らせることを指導し、ルールなどを児童同士で話し合わせ、工夫することで協力したり公正な態度で運動に取り組んだりするようになった。 ○用具の扱いについては、単元のはじめに準備の仕方や使い方を説明した。また準備運動の必要性やルールを守ることが、安全確保につながることを指導し、けがなく運動に取り組むことができた。
総合的な学習の時間	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決のために、進んで取り組む態度 ○友達と協力して学習に取り組む態度 ○調べたことを分かりやすく表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○意欲をもって取り組めるような問題を設定する。 ○各自が責任をもって活動するとともに、友達と協力して問題解決の方法を考えたり、取材したり、まとめたりする学習活動を設定する。 ○新聞、模造紙、プレゼンテーションなど、様々な発表方法を教え、相手意識をもってまとめをさせる。 ○文章だけでなく、絵や写真を活用してまとめることでより分かりやすく伝えることを教える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「卸売センターPR隊」では、自分たちで取材させたり、まとめ方を決めさせたりしたことで、意欲的に取り組むことができた。 ○友達と一緒に作業をする中で、協力したり、意見を交流したりすることができた。 ○デジタルカメラやパソコンなどを活用し、新聞やポスターなど、分かりやすく表現したり発表したりすることができるようになった。 ○パソコンでは、ローマ字入力や、画像の取り込みなど、できることが増えた。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱表現では、発音、発声の仕方や、歌詞のイメージをふくらませ、表現の工夫につなげていく力 ○リコーダーの学習で、左手から始まり、右手の指使いの習熟につなげ、より広い音域や多様なリズムの曲を演奏し表現する力 ○鑑賞で、様々な楽器の音色や、曲の雰囲気の違いを聴き比べる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○口の開け方、言葉の発音、美しい発声について、きれいな声ときれいでない声との違いを感じ取らせたり、歌詞にこめられた気持ちについて、児童の考えを引き出すように工夫する。 ○互いに教え合いをさせ、反復練習を重ね、演奏できるようにしていく。 ○曲を聴いて、感じたことを発表させたり、ワークシートに一定の書き方を指示した上で、答えさせる等工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌唱においては、きれいな、無理のない発声で歌える児童が多かった。歌詞の内容の把握について、言葉で表現させることについては、できるようになってきたがまだ、継続して取り組む必要がある。 ○演奏を習得している児童がまだ習得していない児童に教える機会を設け、反復練習を重ねた結果、操作に慣れてきた。 ○鑑賞の観点を伝えて曲を聴かせたことで、曲の特徴を捉えた感想を書くことができた児童が増えた。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○お話から想像したり、描きながら想像を付けたしたりして創作を進める力 ○道具を使いこなして制作する力 ○付けた力で、次のことに挑戦する力 	<ul style="list-style-type: none"> ○イメージを広げる幅が多い物語などと出合わせ、描くこと自体を楽しむ取り組みを進める。 ○のこぎりなどの木工道具に習熟しながら、自分が目指すものに迫る木工課題を設定する。 ○作品で遊ぶ、作品を使う活動を取り入れ、作る力とともに、生活の中で使いこなす力に転化させていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○物語の世界を味わい、自分の物語を創りだし、絵の中でたっぷり遊ぶような取り組みができた。 ○作りたいものへの思いが、技能習得への意欲につながっている。作品を輝かせる展示も行った。 ○作ったもので遊んだり、技を競いあたりする中で、仲間とともに生活に生かせる力も増えている。

学年の児童の成果と課題(年度末)

元気がよく、明るい子供たちである。学習面では全体的にどの教科にも意欲的に取り組んでいる。基礎的・基本的な内容を理解している児童が多いが、個別の指導が必要な児童も教科によっては2割程度いる。自分たちで調べたことを、発表する学習が増え、みんなの前で発表する力が少しずつついてきた。今後は、友達の見聞を受けて、それを取り入れたり、または自分の考えを深めたりする力を付けていきたい。また、自分の意見や考えを表現する力も伸ばしていきたい。生活面では、多くの児童が場に応じた行動や言葉遣いができるようになり、自分から挨拶ができる児童も増えた。